

令和6年度第3回大府市ひきこもり支援地域協議会議事録

(要点記録)

開催日時：令和7年2月18日（火） 午後3時30分～午後5時00分

開催場所：大府市役所 全員協議会室

出席者 ※敬称略

岐阜協立大学	山田 武司
ひきこもり支援活動者	外波 祐二
刈谷公共職業安定所	大久保 みどり
愛知県立大府東高等学校	社本 このみ
社会福祉法人 憩の郷	
地域活動支援センターおおぶ	杉原 直樹
ちた地域若者サポートステーション	井戸 千尋
大府市民生児童委員協議会	大橋 房代

欠席者 ※敬称略

特定医療法人共和会 共和病院	來多 泰明
大府商工会議所	神谷 恵美子
大府市障がい者相談支援センター	竹内 美喜
愛知県知多福祉相談センター	南山 安澄
愛知県知多保健所	山崎 あゆみ

事務局

福祉部	猪飼 健祐
// 福祉総合相談室	小清水 崇
//	山下 智子
// 地域福祉課	山本 真嗣
健康未来部こども若者女性課	
ニュージェネ&女性係	鈴木 桂子
教育委員会	
指導主事	伊賀 友信
教育支援センターレインボーハウス	蟹江 修
スクールソーシャルワーカー	山田 誠

傍聴者 2名

議事内容

1 あいさつ

—会長挨拶—

2 議題

(1) 参加支援事業に関するアンケート調査について

—資料No.1に基づき事務局より説明—

—質疑

【委員】 調査票問4「趣味」について、支援している方は皆の前で歌うことを好む方が多かったことから、「音楽鑑賞」や「カラオケ」を項目に追加してはどうか？

【事務局】 調査票に反映させていただくこととする。

【委員】 依頼文の「お困りごとや悩み」を、「悩みやお困りごと」と修正するとともに、誤字について再度確認することを提案する。

調査票問4、問5、問9の項目に「学業」又は「勉強」を追加してはどうか？

「暮らし辛さ」を「暮らしづらさ」とひらがな表記にした方が良い。

(2) 中学卒業に伴う切れ目のない支援の実施について

—資料No.2に基づき事務局より説明—

—質疑

【委員】 本市で実施している「すくすく」を作成している家庭は、本取組の対象外となるか？

【事務局】 進学先には中学校から確認した上で送る。福祉総合相談室を経由せずに「すくすく」について伝えていくため、長期欠席の児童生徒は対象外となる。

【委員】 「すくすく」を利用している児童生徒で、長期欠席をしている物は、中学校及び本取組の双方から情報が送られるということか？

【事務局】 「すくすく」でのこれまでの内容に加えて、今回長期欠席の児童生徒たちの支援に関する内容の提供がプラスされるというイメージとご理解いただきたい。

【委員】 中学校から通信制高校等に情報を届けるという認識で正しいか？
また、1か月程度で退学した生徒の状況を追うことは出来るのか？

【事務局】 高等学校への情報提供については、本取組とは別の方法により実施しているため、本取組では行わない。
入学後間もなく退学した生徒の事後の状況を把握する方法については別途検討していく必要がある。

【委員】 情報を途切れさせることなく引き継ぐという点で本取組は良いと感じる。

黄興に限らず、支援機関に行った際に情報が途切れないように、本人、家族の同意を得るのであれば、その情報を福祉総合相談室のほうで預かり、義務教育が終わった後に、支援関係者が、情報をもらいに行くような形で行けると良いと考える。

【事務局】 福祉総合相談室が年齢や属性を問わずない相談対応、情報管理をしており、本取組でも保護者から同意をとる際に、合わせて情報管理についても同意を得られれば、卒業後の情報をアップデートする方法を検討する必要はあるものの、関係機関等に提供出来るのではないかと考える。

【委員】 中学卒業後、家族はどこに相談すれば良いか分かり易くなるのは良いことだと思う。

【委員】 提供される情報の中身について、かなり配慮が必要と感じる。中学校が多くの情報を持っているのは、教職員が幅広く情報を集めてくださっていることによる、その全部をもらうのは大変なのでかつ、情報の範囲には注意を要する。中学卒業後の情報とかを、本人、家族が持っていられることは良い事であるが、その際に伝える情報の内容には注意が必要になるで、支援機関の意見をもらいながら、進めていけると良いと思う。

【事務局】 保護者からではなく、学校から情報をもらうことをイメージしている。年2回の長期欠席会議ではセンシティブな情報も扱うが、次の支援先に引き継ぐには有益な物であり、教職員の負担も多くない。

【委員】 提供する情報は家族にも見せられる物か？

【事務局】 学校だけの見方によらず、保護者にも見せられる内容とすることを意識して情報を整理するよう、学校には周知していく。

【委員】 生徒から、外部に伝えて欲しいが、家族には言わないで欲しい事があると相談を受けることがあり、悩ましく感じる。

【事務局】 いただいた案件について適切な対応を持ち帰って検討させていただく。

【委員】 高校でのオンラインでの授業について説明をお願いしたい。

【委員】 不登校が受けられるオンライン授業がある。通信との違いについて教員内で意見が出ている。

情報共有シートは、高校にも送られるのか？

【事務局】 市内の高校にはこれまでも中高連絡会等で、口頭での情報共有をしていた。今回のこの情報提供シートは、保護者の同意を得て提供する物だが、高校への提供は予定していない。

(3) 福祉分野と他分野との連携について

—資料No.3に基づき事務局より説明—

—質疑

【委員】 多くの方の目に付く様に、チラシを置いたりして、宣伝やPRをしていくことが必要と考える。

【委員】 ボランティア団体の子育て支援サークルを運営する中で、うつ病で自分に自信がない、生きている価値がないと思っているママさんが誰かの役に立ちたいと思い仕分け作業を手伝ってくれている。
守秘義務が守られるような安心できる場所で、役に立てることがあれば協力出来る部分があると思う。

【事務局】 市役所でも同様の案件があった。

【委員】 ハローワークは就職支援の場で先々の支援の場と捉えられるかもしれないが、これまで特別支援学校に出向いて生徒に面接トレーニングを実施し、生徒からお礼を受けた実績もある。本日の会議の内容を内部で共有するとともに、ハローワークがどんなことをしているかを知ってもらえる機会になると良いと思う。

【委員】 連携の際のポイントとして、①参加のしやすさ（少ない人数で、場に知った人が居る）。②インセンティブ（対価や、やりがい）等があると感じる。

3 報告

組織の名称変更について

—資料No.4に基づき事務局より説明—

4 情報交換

当日配布資料に基づき、参加委員から「こども・若者の多様な学びの輪（和）をつくろう」について説明

5 その他

令和7年度第1回会議を、令和7年6月24日（火）に大府市役所全員協議会室で開催する予定

以上